



ひろげようHMネット —参加医療機関の声—

INTERVIEW

きむら耳鼻咽喉科クリニック 木村 隆広 先生

耳鼻咽喉科診療を支えるHMネット ～画像検査と情報連携で深まる理解と安心～

●地域に寄り添う耳鼻咽喉科診療

当院は2019年に呉市広で開業し、耳鼻咽喉科疾患全般の診療を行っています。鼻炎、中耳炎、めまい、難聴などを訴える患者さんが多く、小児から高齢者まで幅広い年代の方が来院されます。

勤務医時代には診る機会の少なかった咳や痰、頭痛などを主訴とする患者さんも多く、耳鼻咽喉科診療の中でも胸部CTや頭部MRIなどの画像検査が必要となる場面を日常的に経験しています。



●紹介後の診療がスムーズに

開院当初は副鼻腔CTを自院で撮影できず、基幹病院へ依頼することが多くありました。検査予約まで約1週間、結果が郵送で届くまでさらに数日かかることもあり、患者さんへの説明まで時間を要していました。また、送られてきたCD-Rの画像を開くのにも手間がかかっていました。患者さんになるべく早く、ストレスなく説明したいと思っていたところ、呉市で実施されたHMネットの実証事業への参加募集があり、2024年1月より利用しています。現在では約2年半で約300人の患者さんの情報を登録しており、日常診療に欠かせないツールとなっています。

紹介した患者さんの検査結果を翌日には確認できることも多く、患者さんをお待たせすることなく、検査結果を踏まえた説明もスムーズにできるようになりました。

●画像や検査結果を診療に活かす

基幹病院へ紹介した患者さんの画像検査や採血結果だけでなく、過去画像や入院中の経過も確認できるため、診療の判断に役立っています。また、ステロイドや鎮痛剤などを投与する際には、マイナンバーカードの健診情報だけでは十分な情報が得られない患者さんもおられるため、HMネットで採血結果を参照することがあります。

基幹病院で実施された画像や検査結果を患者さんと一緒に確認しながら説明することで、患者さんにも安心していただけると感じています。

●AIを診療の後押しに

咳が長期間続く患者さんや症状が強い患者さんには、これまでも胸部X線を撮影していました。しかし、個人診療所ではダブルチェックの機会が少なく、疾患の見逃しがないか常に気になっていました。現在は、撮影した胸部X線画像について、全例でAI胸部X線画像診断支援システムを利用しています。見逃しのリスクを低減するとともに、CT撮影の必要性や他医療機関への紹介の可否を判断する際の参考として活用しています。

一方で、AIでも検出できない所見があるほか、過去画像との比較ができないなど、まだ改善してほしい点もあります。AIに完全に頼るのは今のところ危険であると認識しています。医師がしっかり読影することを基本とし、その上で診療を支えるツールとして活用しています。

●さらに使いやすいHMネットへ

画像読影結果を閲覧できない病院もあるため、閲覧ルールが整備され、より多くの情報を共有できるようにすれば、地域医療連携はさらに進むと思います。

●これから利用される医療機関へ

HMネットを利用して、基幹病院の画像や検査結果を患者さんと一緒に確認することで、診療への理解も深まり、患者さんにも安心感を持っていただけます。

当院では院内掲示や独自のパンフレットを活用して患者さんへご案内しており、スタッフも説明に慣れているため、現在では医師の負担はログインとHMカードの読み取り程度です。

耳鼻咽喉科診療においても、HMネットは病院との情報共有や患者さんへの説明を支える有用な仕組みだと感じています。まだ利用されていない医療機関や、十分に活用できていない医療機関にも、ぜひ活用していただきたいと思います。



きむら耳鼻咽喉科クリニック

〒737-0112 広島県呉市広古新開7-23-9

TEL: 0823-76-3322/FAX: 0823-76-3300

AI胸部X線画像診断支援システムをバージョンアップ

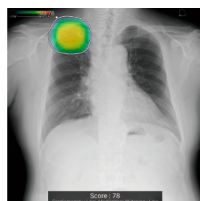
令和8年7月21日(火)、「AI胸部X線画像診断支援システム」の機能向上を図るため、バージョンアップを実施しました。

●主なバージョンアップ内容

①解析対象所見の大幅拡充 (3所見 → 10所見)

【従来】結節/腫瘍影、浸潤影、気胸

【今回追加(7項目)】無気肺、石灰化、瘢痕、胸水、気腹(フリーエア)、心拡大、縦隔拡大



結節/腫瘍影 (Ndl: Nodule)

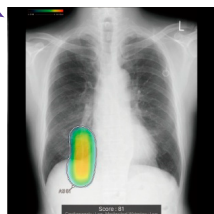


浸潤影 (Csn: Consolidation)

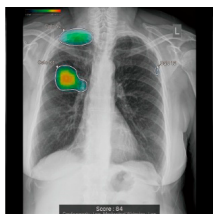


気胸 (Ptx: Pneumothorax)

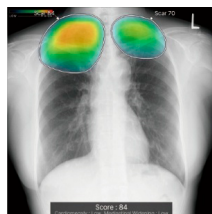
NEW



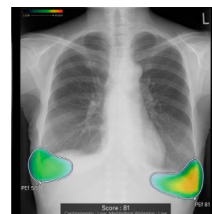
無気肺 (Atl: Atelectasis)



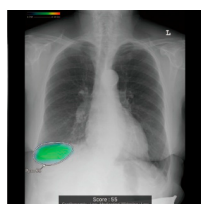
石灰化 (Calc: Calcification)



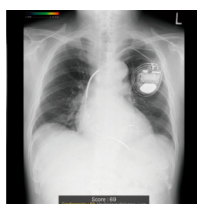
瘢痕 (Scar)



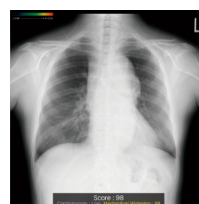
胸水 (Pef: Pleural Effusion)



気腹 (Ppm: Pneumoperitoneum)



心拡大 (Cardiomegaly)



縦隔拡大 (Mediastinal Widening)

②表示機能の強化

(1) 所見名の自動ラベリング

→検出領域ごとに所見名を表示

(2) 確信度スコア表示

→各所見の確信度（スコア）の最大値を所見ごとに個別表示

▶判断の一貫性を支援

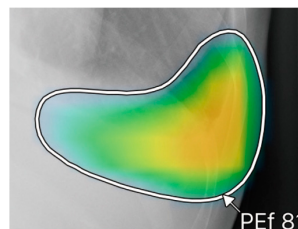
(3) 輪郭表示機能の追加

・所見ごとに輪郭を表示

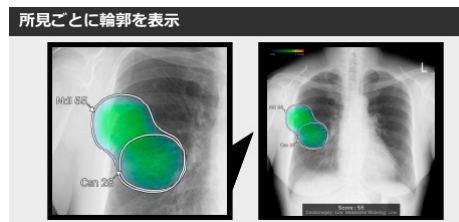
・ヒートマップとの重ね表示

▶病変位置の把握がより直感的に

▶説明・共有が容易に



※例：PEf（胸水）スコア81点



バージョンアップにより、より分かりやすい解析結果表示と読影支援機能の向上が期待されます。既にHMネットに参加いただいている医療機関におかれましては、ぜひ本機能をより一層ご活用ください。また、ご参加いただいていない医療機関におかれましては、この機会にぜひご参加をご検討くださいますようお願いいたします。